

2022年度 活動（事業）報告書

特定非営利活動法人 アドバイザーネットワーク神奈川

1 事業の成果

本年度も様々な事業計画をしたが、新型コロナウイルス感染症の第8波に及ぶ継続的な影響と、ワクチン接種会場になったための施設使用制限に伴い、年間を通して予定していた事業を延期・中止せざるを得ない状況下を経て、少しずつではあるが施設内においても行事等が行われるようになった。それに伴って相談件数も少し増加した。

相談事業の安定した実施の遂行と、協働事業先の要請を受け「SDGS マルシェ」への複数回参加、昨年度に引き続きビナレッジ登録団体が一堂に会して行う「生きがい発見塾」での臨時相談ブース出展への協力が出来たことは貴重な成果であった。また、昨年度から継続している県央地区を中心に、コロナ禍における高齢者・障がい者等の各施設の現状等の情報収集を元に、市内高齢者施設からの依頼で職員研修講師活動を行えた。さらに、ボランティア活動の現況の情報収集・整備など、市民活動支援という当法人の目的に寄与する役割を一定程度果たすことができた。

相鉄企業株式会社との協働事業として実施している、えびな市民活動センター ビナレッジにおける相談事業は、相談件数の減少など新型コロナウイルス感染拡大防止措置の影響も受けたが、昨年引き続き相談員のスキルアップを念頭に、インクルーシブボランティア研修・地域福祉推進に関する研修、発達障害を含む学童支援に関する研修などを受け、相談内容の多様化への対応力向上にも努めた。また、団体会計事務などについてのブラッシュアップとして法人会計研修へ参加し研鑽した。

他団体・組織等との連携としては、協働事業を進める中で定期的な情報交換会を行った。本年度も、市民活動センターの登録団体との具体的協力体制を構築し、今後の連携協力について展望を確認することができた。

2. 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

1) 市民活動・ボランティア活動の推進支援に関する事業

① ボランティア・市民活動等相談事業

・事業の名称 えびな市民活動センター “ビナレッジ”

「ボランティア・NPO 活動相談事業」

・内 容 月2回相談コーナーにて定期相談開設のほか、各種コーディネート・出向き相談・臨時相談に対応。

・日 時 毎月第2・第4月曜日 午後1時～5時

・場 所 えびな市民活動センター “ビナレッジ” 1階相談コーナー・会議室等

- ・従事者 5名
- ・受益対象者 海老名市民・一般市県民
- ・相談件数 50件 (臨時相談会・コーディネート6件含む 対応者2名)

② 臨時相談開催

ア「SDGS マルシェ 1」

- ・内容 協働事業先から依頼を受け相談コーナーを臨時開設
- ・日時 7月10日
- ・場所 海老名運動公園
- ・従事者 2名
- ・受益対象者 海老名市民・一般市県民

イ「SDGS マルシェ 2」

- ・内容 協働事業先から依頼を受け相談コーナーを臨時開設
- ・日時 9月25日
- ・場所 海老名運動公園
- ・従事者 2名
- ・受益対象者 海老名市民・一般市県民

ウ「生きがい発見塾」

- ・内容 「生きがい発見塾」実行委員会の依頼で相談コーナーを臨時開設。
- ・日時 3月5日 9時～16時
- ・場所 えびな市民活動センタービナレッジ
- ・従事者 3名 午前・午後
- ・受益対象者 海老名市民・一般市県民

- ・①～②の支出額 ￥410,370

2)「情報整備事業及び情報発信」

- ・内容 相談事業の各PR及び法人HPの更新
- ・日時 通年
- ・場所 えびな市民活動センター会議室、事務所など
- ・従事者 6名
- ・支出額 ￥27,462

3) ボランティア活動協働企画推進事業

①「ビナレッジみんなの屋上花プロジェクト」

- ・内容 多世代向け企画(ビナレッジとの協働事業)
- ・日時 4月～通年

- ・場 所 えびな市民活動センター ビナレッジ屋上
- ・従事者 4名
- ・受益対象者 海老名市民・ビナレッジ・ビナスポ利用の一般市県民

※日程・会場確保、その他準備済であったが第6波の影響の推移で中止した。

② 団体及び一般市民向け講座の講師活動・企画・実施事業

ア「海外支援を学ぶ&ワークショップ」

- ・内 容 夏休み期間の高校生・大学生対象 ユース講座
- ・日 時 8月中1回 午前9時～12時
- ・場 所 えびな市民活動センタービナレッジ
- ・従事者 3名
- ・受益対象者 学生・海老名市・一般市県民（10名を予定）

※ 講師は依頼済ではあったが、第7波の影響を鑑み中止とした。

イ 「地域ボランティア養成講座」

- ・内 容 地域支えあい活動としてのボランティアの育成を図る
- ・日 時 11月19日 10時～12時
- ・場 所 厚木市緑ヶ丘公民館
- ・従事者 1名
- ・受益対象者 厚木市・緑ヶ丘地域住民・その他

ウ 「高齢者施設職員研修」

- ・内 容 「コロナ禍における施設職員としての在り方」
- ・日 時 令和5年1月16日 18時～19時半
- ・場 所 市内高齢者デイサービス施設
- ・従事者 1名
- ・受益対象者 当該施設職員16名

③ 「事業管理」

- ・内 容 組織の健全運営、維持を図り、管理部門としての情報収集作業と共有、及び会議の定期開催や研修を行い、親しみやすい相談コーナーの継続に努めた。
- ・日 時 通年
- ・従事者 6名
- ・支出額 ￥ 96,107（研修費含む）

活動計算書

令和4年 4 月 1 日 から令和 5年 3 月 31 日 まで
 特定非営利活動法人 アドバイザーネットワーク神奈川

科 目	令和4年度 決算	備考
I 収入の部		
1. 会費収入		
正会員年会費	50,000	年会費@5000x10
受取会費合計	50,000	
2. 事業収益		
ボランティア相談事業	478,500	相鉄企業協働事業委託金
講座実施事業	0	
講師・委員等活動	0	
事業収益合計	478,500	
3. 受取寄付金		
受取寄付金	0	
受取寄付金合計	0	
4. 雑収益		
受取利息	0	
雑収益	0	
雑収益合計	0	
収入合計	528,500	
II 支出の部		
1. 事業費		
人件費		
相談業務	310,500	ビナレッジ協働事業
活動費	36,000	情報整備等
交通費	63,870	相談業務・講座・情報整備
人件費計	410,370	
その他費用		
研修費	0	
会議費	0	
通信費	0	
物品費	13,239	書籍代
消耗品費	3,533	
講師謝礼費	0	
広報宣伝費	10,690	HPサクラ・点検・更新等HP関連
支払手数料	0	
雑費	0	
雑損失	0	
その他費用計	27,462	
事業費合計	437,832	
2. 管理費		
人件費		
活動費	47,500	
人件費計	47,500	各書類作成・提出・事務局作業
その他費用		
教育費	6,000	NPO研修(会計)
会議費	0	
旅費交通費	11,740	
通信費	0	
消耗品費	0	
広報宣伝費	0	
支払手数料	1,045	
雑費	29,822	通信費・その他
業務委託費	0	
その他費用計	48,607	
管理費合計	96,107	
支出合計	533,939	
■当期経常増減額	▲5439	
正味財産期首残高	68,875	
正味財産期末残高	63,436	

貸借対照表

令和5年3月31日現在

特定非営利活動法人 アドバイザーネットワーク神奈川

(単位 円)

科目	金額
Ⅰ 資産の部	
1.流動資産	
現金預金	
現金	0
普通預金	63,436
流動資産合計	63,436
2.固定資産	
積立金	0
固定資産合計	0
資産合計	63,436
Ⅱ 負債の部	
1.流動負債	
預かり金	0
短期借入金	0
流動負債 合計	0
長期借入金	0
固定負債 合計	0
負債合計	0
Ⅲ 正味財産の部	
前期繰越正味財産	68,875
当期正味財産増減額	▲5439
正味財産合計	63,436
負債正味財産合計	63,436

財 産 目 録

令和5年3月31日現在

特定非営利活動法人 アドバイザーネットワーク神奈川

(単位：円)

貸借対照表科目		金額
Ⅰ 資産の部		
1.流動資産		
	現金 現金手元残高	0
	普通預金 横浜銀行横浜駅前支店	63,436
流動資産合計		63,436
2.固定資産		
固定資産合計		0
資産合計		63,436
Ⅱ 負債の部		
1.流動負債		
	預かり金	
	短期借入金	
流動負債合計		0
2.固定負債		
	長期借入金	
固定負債合計		0
負債合計		0
正味財産合計		63,436